

1 事業概要

事務事業名		社会体育学校開放事業		課名	生涯学習・スポーツ課	事業No.	344	
				会計	一般会計			
				事業区分	政策	実施区分	単年度	
				開始	S51	終了		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称				
	戦略計画							
	分野別計画	教育振興基本計画						
スポーツ推進計画								
法令・例規等								
事業目的		対象	学校開放施設（体育館・校庭・武道場）の数：（施設56）					
		意図	安全で良好な環境で利用できるよう施設整備する。					

2 事業内容

29年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)	
	・学校体育施設を地域に開放するため、良好な環境で使用されるよう維持管理を行いました。 ・学校開放施設の運用にあたり各公民館と連携を行い、利用調整と施設の適正管理を図りました。 （電気・水道 消耗品 浄化槽点検等）		社会体育学校開放施設管理経費				10,043	
		その他の経費				0		
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）	単位	平成28年度 実績	平成29年度 実績	平成30年度 実績	平成31年度 実績	平成32年度 実績	
	不具合の発生による施設の休止日数	日	0	0				
29年度 決算 (千円)	予算額	10,157	特定財源内訳及び補足事項					
	決算額	10,043	(そ) 社会体育学校開放施設使用料					
	財源の 状況	国庫支出金	0					
		県支出金	0					
		地方債	0					
		その他	120					
一般財源	9,923							

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	6	3	10	1	10,157	10,043	社会体育学校開放管理費
2									
3									
4									
5									
6									
7									

振り返り課題認識	身近な体育施設として維持管理・運用面で適切に管理していくことが求められます。
上記の課題解決のための有効策	公民館・学校との連携をとり維持・管理していく必要があります。
次年度に向けての取り組み	各公民館・学校との連携を取り施設の状態を良好に保つよう維持・管理に努めます。